

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月15日 (2018.11.15)

【公開番号】特開2017-140671(P2017-140671A)

【公開日】平成29年8月17日 (2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-23536(P2016-23536)

【国際特許分類】

B 2 4 B 37/34 (2012.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

B 2 4 B 49/12 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 37/00 X

H 0 1 L 21/304 6 2 1 A

B 2 4 B 49/12

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月3日 (2018.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

この変形例の場合、図 2 において、符号 3 2 を付した部分が回転する下定盤用駆動軸、符号 3 1 を付した部分が下定盤用駆動軸の周囲の静止する機体部分であると考えことができ、そうすると、光用ロータリジョイント部 6 1 の静止側ジョイント部 6 2 及び電気用ロータリジョイント部 6 5 の静止側ジョイント部 6 6 がそれぞれ回転側ジョイント部になると共に、光用ロータリジョイント部 6 1 の回転側ジョイント部 6 3 及び電気用ロータリジョイント部 6 5 の回転側ジョイント部 6 7 がそれぞれ静止側ジョイント部になり、また、第 1 ケーブルカバー 7 3 と第 2 ケーブルカバー 7 4 は静止側である機体部分に取り付けられ、両ケーブルカバー 7 3 , 7 4 間の空間部 7 5 内に収容された光ファイバーケーブル 5 1 の二次側ケーブル 5 3 及び電気ケーブル 5 6 の二次側ケーブル 5 8 は、測定ユニット 5 と 静止側ジョイント部 とを接続する一次側ケーブルになる。